

平成 30 年 1 月 4 日 00360 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

ニュースレター【事務局情報】 武道館の日本刀が新年初手入れ！



1 月 4 日 (木) 北見市武道館の仕事始めに合わせ、武道の広場に奉られている「日本刀」の手入れが行われ、鑑賞時の作法や手入れの順序を見ることが出来ました。北見居合道連盟三浦清富会長が武道館の日本刀に一礼し静かに刀をぬくと、和紙で出来た拭い紙で古い油をきれいにふき取り、砥石を粉末状にした「打ち粉」を刀に打ち、さらに拭い紙でふき取り磨きをかけます。鑑賞した後、油を刀に薄く塗り鞘に納め終了しました。三浦会長は「日本刀は下から見上げる様に手入れを行う。上から下へのぞき込むような事をしては危険」と日本刀の扱う作法を教えてくださいました。

武道館で新年の鏡開き初稽古が行われました！

1 月 7 日 (日) 北見市武道館に於いて北見市柔道協会 (西尾静男会長) の「鏡開き」初稽古が行われ早朝より子供から大人まで約 150 人が続々と武道館に集まり午前 10 時鏡開き式が開始されました。西尾会長が「目標をもって今年一年頑張りましょう」と新年の挨拶をしたのち初稽古が始まり、集まった人の中には「正月休みでナマツタ身体を引き締めに来ました」と気持ちのいい汗をぬぐっていました。



空手の鏡開き初稽古 1 月 7 日 道場 3 では、空手の柏悠会が鏡開きに合わせ初稽古を行い約 30 名のちびっ子空手家は、空手の「形」や「組手」の基本稽古に加え、鏡餅に見立てた木の板を素手で割る「板割」を行いました。大西祐貴代表は子供たちの勇ましい姿をみて「目標をもって今年一年頑張ってもらいたい」と子供たちの成長に期待を込めていました。

連載「武道宝鑑」第 16 弾柔道秘訣 柔道教士七段 徳三宝『所感』

寒暑稽古をやるうえに於いてもそれは幾多の難関はあるけれども目的貫徹という点から観察すればそれは何でもない。この難関を突破して目的に達することが数が重なれば重なる程それがやがてその人物をして大成せしむる原因となるものである。寒中遠近を問わず霜雪を踏んで勇躍以て道場に行き稽古衣となるや気骨は緊張して自ら寒敵に対する抵抗力は強くなるのである。かの炎天酷熱の日に熱化流汗の稽古衣こそ勇猛精進の味があるのである。世に暖衣飽食の徒あらば宜しく人生としての目的那邊にあるかを悟り一刻も早くこの活境界に入り真の大丈夫となれよ。建国以来我が國體の金匱無缺にして天壤と共に悠々窮りなき所以は畢竟萬邦に卓絶して居る國民精神即ち・・・つづく